

ネパール投資省主催投資セミナーほかニューデリー出張報告

商工部会長 猪狩哲夫
事務局 今井香緒里

【はじめに】

8月29日～31日にかけて、ネパール投資庁の JICA 専門家・玉田投資アドバイザーが、投資庁関係者とともにネパールへの投資誘致のためインド・デリーでネパール投資促進セミナーを開催しました。商工部会からは猪狩と今井が参加、大使館・経済班 黒坂佐紀子氏、JICA 民間連携担当 中村あゆ子氏とともに、セミナーに参加したほか、各方面の方々と意見交換、また在印商工部会会員各会社などを訪問させて頂きました。

【在インド日本大使館訪問】 降井寮治参事官面談

降井参事官より、インドの現在の状況と、日本企業の活動状況をご説明いただきました。

現在インドでは、外国投資を積極的に誘致しており、各州で投資誘致イベントが開催されているようです。そのような状況の中、ネパールの南部国境を接するウッタル・プラデシュ州及びビハール州には、投資誘致の動きがあまりなく、産業も少ないことが、在印日系企業のネパール進出が促進されていない一因であるのかもしれないということです。

参考資料 1「[インド情勢・日印関係（平成 30 年 8 月）](#)」



印在インド日本大使館前にて
(左より)玉田、黒坂、猪狩、中村(敬称略)

【インド JETRO 訪問】 梅木壮一代表、廣田貴之氏面談

梅木代表より、インドの外資招致の方策と、各所にある日本向け経済特区などについて詳しいお話を伺いました。インドには約 1960 社の日本企業が進出しており、そのうち 80%が自動車分野における投資です。その多くが大企業であり、逆に中小企業は進出が難しい環境にあることを伺いました。逆に中小企業であれば、比較的、外国投資がしやすいネパールと比較ができました。

近年整備が進んでいる日本専用の工業団地には、JETRO がプロモーター及びオブザーバーとして支援されており、一部の工業団地では、毎月意見交換のための「社長会」なるものが開催されているそうです。

その他、詳しいお話を聞くことができ、非常に有意義な会合となりました。

参考資料 2「[インドの最新政治経済と日系企業動向（2018 年 8 月）](#)」

参考資料 3「[インドの投資環境（2013 年 12 月）](#)」



JETRO のあるオフィスビル



JETRO での面談
梅木代表(中央)、廣田氏(右)

【双日】 石井邦彦代表、岸田美由紀さま面談

インドJETROと同じビルにある双日にお邪魔し、近年のインド政府の投資企業登録の方策ならびに同社が開発中の工業団地のお話を伺いました。

特に興味深かったのは、近年インド政府が力を入れている投資手続きのIT化についてです。モバイルアプリのチャットツールを使用して、投資手続き、会社運営を行うことができるようになったことで、これまで大きな問題があった税務と汚職分野で改善がみられるようになったとのことでした。

また、インドに進出している日本商社は全て、インドの現地法人として進出をしており、他の企業でも、リエゾンオフィスや駐在オフィス等はほとんどないと伺い、ネパールとの大きな違いであると感じました。

一方で、小売、不動産、金融分野では、外国企業の投資に大きな制約があることが確認できました。

【BELTECNO INDIA】 田村清和社長、面談

ニューデリーから50kmほど郊外にある工業団地 Gurgaon に事務所がある商工部会会員会社 BELTECNO INDIA を訪問しました。これまでインドでの会社設立の過程や運営、今後のインド、ネパールの展望などにつきましていろいろなお話を伺いました。



BELTECNO INDIA オフィスにて
田村社長(左から3人目)

【ネパール投資促進セミナー】 17社24名の参加

インドJETROのご協力を得て、Welcomehotel Dwarka, Gateway Hall 2にて、「ネパール投資促進セミナー in New Delhi」を開催しました。

大使館黒坂氏より、オープニングアドレスとして、ネパールの経済環境の現状などをお話し頂き、ネパール投資庁のJICA 専門家・玉田投資アドバイザーより「ネパールの投資環境とインドの貿易について」というテーマで、経済特区の開発状況やネパールに投資する場合のケーススタディなどが説明されました。その後商工部会猪狩が、「ネパールの現在」と題したプレゼンテーションを行いました。その後 参加企業の方々と活発な意見交換を行い、在インド日系企業の関心度を感じました。

また後日、この投資促進セミナーの報告が、アジア経済情報誌 The Daily NNA インド版 9月5日に掲載されました。

参考資料 4 [参加者リスト](#)

参考資料 5 [「NNA INDIA 20180950」](#)



黒坂氏(右)のオープニングアドレス



猪狩のプレゼンテーション



玉田氏によるプレゼンテーション



インド日本商工会事務局長河野氏(左)

【PHD 商工会議所】 Krishna V Rajan 元ネパール大使、Anil Khaitan President,ほか 4 名

30 日夕方には、PHD Chamber of Commerce and Industry を訪問しました。PHDCCI は 1905 年設立、会員数 13 万社という歴史のある巨大な商工会議所でした。元在ネパールインド大使 Rajan 氏をはじめ Khaitan 会頭などの Board Member との意見交換となりました。

PHDCCI は、本年 8 月にネパール工業連盟（Confederation of Nepalese Industries、CNI）と MOU を締結、「India-Nepal Centre」を設立し協業を検討しているとのことでした。

面談の中で、ネパールへの投資のターゲットとなる主要分野やそのポテンシャルなどについて、真剣な討議になりました。

参考資料 6「[PHDCCI meeting memo](#)」



PHDCCI ビルの前で



PHDCCI 幹部との面

【JBIC インド】 林谷一郎所長、藤井達也駐在員面談

31 日は商工部会のメンバーでもある JBIC インド事務所を訪問しました。林谷所長と面談、JBIC としてのネパール事業への投資の姿勢などを伺いました。また我々商工部会への助言もいただき、有意義な面談となりました。



林谷所長(左)、藤井氏

【JICA インド事務所】納家祥駐在員面談

31 日午後は、JICA インド事務所を訪問し、今回のネパール投資促進セミナーの報告を行いました。

担当の納家駐在員からは、ネパールの投資環境の状況や今回のセミナー参加者の反応などについて質問を頂きました。

また、ネパール震災時の緊急派遣隊やその後の復興国際会議にも参加され、ネパールに造詣が深い、松本勝男インド事務所長にもご挨拶をすることができました。

【会計報告】

今回のインド訪問では、以下の経費を支払いました。

- ・カトマンズーデリー往復航空賃（エコノミークラス、2 名分）：46,416 NPR
- ・デリーホテル宿泊費（2 泊分、2 名分）：30,724 NPR
- ・インド査証代（2 名分）：24,660 NPR
- ・ネパール投資ガイド進呈 4 冊（在印日本国大使館、JICA、JETRO、在印日本商工会）：12,000 NPR
- ・合計 113,800 NRS を商工部会会計より使わせて頂きました。

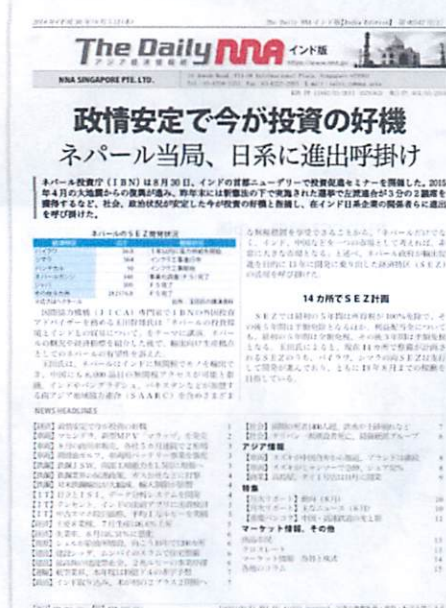
【おわりに】

インドは大きく、投資と開発の機運が高まり続けている様子が感じられました。今回お話をした日系企業の方々は、皆ネパールに対して、前向きなイメージを持っており、商工部会も特に観光分野、日本食の手に入りやすさ、気候の良さ、日本人との文化の近さ等をアピールしてきました。

また、ちょうど訪印時、デリーのフリーニュースペーパー「チャロ」に、当部会が掲載したネパールの広告が初めて掲載されたこともあり、ネパールに行ってみたいという声が沢山聞けました。

今回の投資誘致セミナーを踏まえ、ネパール投資庁は、次回はインド地方都市またはカトマンズで投資誘致セミナーを実施予定とのこと、今後の動きが楽しみです。

（セミナーの様子を紹介した The Daily NNA-共同通信系のアジア経済誌-インド版の記事＞ pdf も添付）





インドフリーペーパー「チャロ」9月号掲載



同 10月号掲載



同 11月号掲載 (10月25日発行予定)